

平成かわら版

# やまびこ

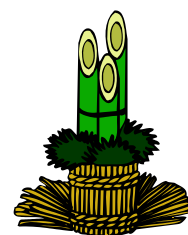
平成22年1月1日  
第53号  
(毎月1日発行)  
中津川市  
山口総合事務所  
(0573) 75-2126

# 初春



あけまして

おめでとーいげんまつ



山口総合事務所

所長 張山あけ美

新しい年平成22年を迎え、山口地区の皆様のお幸せとご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、一番に浮かびますのが「第22回ふるさと馬籠ごへー祭り」の皆様お一人お一人の取り組みとその成果であったと思います。市民と行政の協働で最高の取り組みができたと思っております。

また、山口地域づくり協議会では、「賤母の森・川と緑の公園づくり」の協定書締結（関西電力労組東海地方本部、中津川市職員組合、中津川市、山口地域づくり推進協議会）が行われました。これは未来の子どもに引き継ぐ大切な事業であります。また、馬籠地域づくり推進協議会においては都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」を受賞されました。これは行政と協働し長年取り組んできた成果が認められたものです。

昨年はこうした市民と行政との協働が良い成果を生んでまいりました。

本年も益々地域づくりにご尽力いただき、市民と行政と協働で「誇れる山口地区」を目指していきたくと考えています。最後に様々な部分で支えていただいていますありがとうございます。最後に感謝を申し上げます。

## 今必要なのは地域の元気です

### 【神坂中ボランティア隊】

神坂中学校では「地域ボランティア隊」と銘打って、ごへー祭りでの清掃作業、中学校からふるさと学校までのゴミ拾い、ふるさと学校周辺の落ち葉はき等、地域をきれいにする為に活動しています。



### 【峠のばあさま】

峠のばあさまたちは、1月に入ると厄落としの願をかけに峠のお薬師さんに上がります。12月には、その年の厄払いの願果しにお薬師さんへ、念仏を上げに行きます。電気も引かれていないお堂の中で、いろりに火を起こし、釜で炊いたご飯を供えます。煙でくすぶったお堂の中で念仏をあげた後、持ち寄った惣菜で昼食を食べ、皆の様子を語り合って、半日を終えます。このような繰り返しは何日も続くのです。

県道からお薬師様までの坂道は、とても急です。それでも峠のばあさまたちは、地域に住む人々の厄払いや願果たしをかかさないので、昔から引き継がれているありがたい風習です。



家族同然のばあさまたちこのパワーが峠のごへー餅四八〇〇本を作りだします

### 【乳幼児学級を支えるボランティア】

山口地区乳幼児学級では、学級を経験したお母さんである可知和美さん(山口第2町内会)が中心となり、企画・運営を行っています。

和美さんは、一年間子育てボランティアとして関わりながら、市主催の「子育てボランティア講座」を受講した後、子育てボランティアグループ「まあるいこころ」のメンバーとしても登録されています。

以前にも公民館だよりで紹介された明るい笑顔と子どもが大好きな和美さんは、14組の親子でスタートした今年度の学級から主担当となり、子育て、親育ちを目指し、楽しみながら活動されています。

このように地域に住む方の積極的な関わりが、地域の若いママの子育てを支えることになり、子育て支援をしていく中で大変貴重な存在になっています。

学級の今後の予定として1月は、『英語で遊ぼう』、2月は『食育』が計画されています。見学希望の方、ボランティア希望の方は、山口公民館(七五―三一五八)まで連絡して下さい。



## 第 27 回山口・馬籠文化芸能祭



日頃の練習の成果に拍手喝采です



山口が誇る黎明太鼓保存



特別授業で学んだ3年生の太鼓



元気の秘密は腹式呼吸？



毎年違った衣装と踊りで楽しませてくれます



フラミンゴによるダンス  
講習会には、皆さん大喜  
び・・・  
入会お待ちしております！



思わず微笑みたくなるステップ&GO!



おなじみのエーデルワイス（バンドーラ）は、「第36回中津川市民踊祭り」にゲスト出演されました。二年振りに参加の若葉会（大正琴）は、元気な演奏を披露してくれました。ひばり会（カラオケサークル）のメンバーそれぞれが歌手〇〇に成りきって歌いました。

## 石碑が建立されました



荒町地区ほ場整備委員会が加藤博晃さん(町4)から「地域の方へ長年に渡り世話になったお礼の気持ちです」と送られた石材一式を用い、記念碑を建立しました。

**期 間** 平成13年7月着工  
平成21年3月完了  
**場 所** 荒町工区  
**参加戸数** 53戸  
**事業主体** 長野県・岐阜県  
**受益面積** 一四・五九ヘクタール  
**経 費** 四億三三五万五千円

## 合鴨たちが住むため池です

石碑が建立されている荒町のため池には、22羽の合鴨が住んでいます。林治男さん(山口第2町内会)が、もらった2羽の合鴨を荒町区の許可を得て、放したのが2年前です。一日置きの餌やりをしていたらあつという間に増えたそうです。



米選機の下に落ちたアオという実っていない米が餌です。治男さんの声を覚えてくるようで、8時前に餌をやりに行くと、合鴨たちが寄ってくるとか。・「合鴨の子育ても人間と一緒にだつたよ」と成長した合鴨に目を細める治男さんです。

付近に住んでいる方が持つてくる餌もあり、少し太めの鴨たちですが、皆家族の為、いずれはパートナーを求め他所へ飛び立つ日が来るようです。周回路の整備された堤の向こうに恵那山が見える美しい場所に合鴨はいます。一度会いに出かけませんか。水際には、林さん手製のかわいい鴨の家も建っています。

## 人権擁護委員交替しました

お疲れ様でした鈴木さん  
お願ひします園原さん



12年という長期間に渡り、人権擁護委員として啓発活動並びに人権相談などに積極的に活動していただきました鈴木早苗さん(山口第7町内会)がその任務を終えられました。地域の為に尽力頂き、本当にありがとうございました。

後任は、園原則子さん(山口第7町内会)が法務大臣から人権擁護委員に委嘱され、すでに活動して頂いています。よろしくお願ひします。

人権擁護委員は、国の委嘱を受け、地域の皆さんの為に活動します。家庭や地域における、さまざまな問題でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

## 法令講習会開催される

お酒の機会が多い時期です  
飲酒運転は絶対



山口地域で合併後初めての法令講習会が開催されました。車は、便利な反面、重大な事故を招きます。もう一度初心に帰り、交通ルールを守り慎重な運転に心がけましょう。